

資格の位置づけは、

- 1 ◆  認定介護福祉士
- 2 ◆ 介護福祉士→
- 3 ◆ 介護福祉士実務者研修→
- 4 ◆ 「介護職員初任者研修→

で、

- ◆ 認定介護福祉士は介護士系の資格の中で最上位です。

介護福祉士は何年目で取れる？

改正前 ・介護業務の実務3年を経て、国家試験を受験。 ・養成施設(2年以上)の卒業のみで介護福祉士の資格 を取得。 改正後 ・

- ◆ 実務3年に加え、
 - ◆ 600 時間以上(6か月以上)の実務者研修の受講を義務づけ。
- < ・教育内容を 1,650 時間の課程から 1,800 時間の課程に 充実するとともに、新たに国家試験を義務づけ。 >

介護士資格は国家資格ですか？

★介護職のキャリアパスは、一般的には持っている資格によってキャリアアップができる仕組みになっていて、その中でも介護福祉士は、介護の資格の中で唯一の国家資格です。

介護福祉士とケアマネージャーの資格の違い

介護福祉士とケアマネージャーでは、資格の種類が異なります。

- ◆ 介護福祉士は、国が認定を行う ◆ 国家資格です。試験を受けるためには、実務経験が3年以上あることが必須条件となります。
- ◆ 一方ケアマネージャーは、◆ 都道府県が認定する資格です。資格を取得するためには、各都道府県で実施される「
- ◆ 介護支援専門員実務研修 ! 受講試験」に合格した後、「
- ◆ 介護支援専門員 ! 実務研修」を修了する必要があります。また受験するためには、

- ◆ 医師や看護師、介護福祉士等の 国家資格を取得していることや、
- ◆ 介護や相談援助に関する実務経験が 5年以上あることが条件となっています。

介護福祉士の仕事内容

介護福祉士は日常生活に支障がある高齢者や障害者・障害児の生活支援を行う職業です。

ここでは介護福祉士の仕事内容について、詳しく説明していきます。

目次

- ・ 介護福祉士の主な仕事 ▼
- ・ 身体介護の仕事 ▼
- ・ 生活支援の仕事 ▼
- ・ 相談・助言の仕事 ▼

身体介護の仕事

身体介護とは、身体に直接触れて行う介助のことです。そのために 必要な準備や後片付けなどもこの仕事内容に含まれます。身体に直接触れない場合にも、日常生活の動作能力(ADL)やその意欲を向上させるために、要介護者と共に行う自立支援のためのサービスもこの身体介護にあたります。身体に関わる介護の一環だからですね。

例)

食事介助、排泄介助、特段の専門的配慮をもって行う調理、清拭(全身清拭)、部分浴、全身浴、洗面等、身体整容、更衣介助、体位変換、移乗・移動介助、通院・外出介助、起床・就寝介助、服薬介助、自立生活支援のための見守りの援助

生活支援の仕事

日常生活の援助です。訪問介護の場合は 「家事援助」という呼び方をします。身体介護とは違い、身体に直接触れない仕事内容が生活支援です。◆ 炊事や洗濯、買い物などの家事や、◆ そのために必要な一連の行為を含みます。

要介護者本人が自分のためにやりたいけれどできないことを代行して行うサービスであるため、本人ではなく 😞 家族のために行っている家事や本人以外の部屋の掃除、ペットの世話などは含まれません。また ! 年に一度の大掃除のような日常生活から逸脱した内容も対象外です。

例)

掃除(トイレや卓上も含む)、ゴミ出し、洗濯(取り入れと収納、アイロンがけ)、ベッドメイク(シーツ・布団カバーの交換等)、衣服の整理(夏・冬物等の入れ替え等)、被服の補修(ボ

タン付けや破れの補修等)、一般的な調理、配膳・下膳、日常品等の買い物(内容の確認
や品物・釣銭の確認を含む)、薬の受け取り